

問2 今後、食と農を結びつける食育活動を行うために、どのような取組が効果的だと思いますか。具体的なお聞かせください。

■あぐりキッズスクールの取組のように、一から作物を育てて、新鮮な野菜とふれあうことは大切だと思う。
■苗や種から作物を作り、作った作物を料理して食べる。作った作物を売って、スーパーで売っている野菜も自分たちが作ったのと同じような過程をたどっていることを理解する。
■家庭での取組として、簡単にできるプランター栽培が効果的だと思う。
■小さい頃から農業体験をさせる。
■子どものみの体験活動ではなく、大人も実際に体験することがとても大切だと思う。
■農業体験をすること。
■食育活動で一番大切だと思うのは、食物ができるまでを知ること、見ること、関わることだと思う。子どもの頃から親や友達と一緒に食物に関わる機会をたくさん与えるのが良いと思う。
■今回の短大生達のように、幼稚園児たちと一緒に農業体験を行い、食べることや楽しむことの大切さを感じてもらえるような取組が行えれば良い。
■授業で話を聞くだけでは、記憶に残らないと思う。農業体験や調理実習などで実際に体験させることが一番効果がある。例えば、近所の高齢者に講師になってもらい郷土料理を作る体験をさせる等の取組を積極的にしていけば、食の大切さ、楽しさを感じることができると思う。
■聞くのみの食育は退屈になるので、直接自然に触れる、感じる体験が大切だと思う。なにより楽しいことが記憶に残ると思う。
■野菜の苗植えや米を育てるなど、食物の生長の過程を自分たちで見て体験する場を設けること。
■子どもの年齢(学年)に合った農業体験を行うこと。
■話を聞くだけではわからないことがたくさんあるので、子ども達に話のみでなく実際に作ることをたくさん経験させる。子ども達だけでなく、大学生や大人も食に関して知らないことが多いので、農業体験を行う。
■子ども達と一緒に体験することが大切だと思う。
■一年間とおしての農業合宿を行う。
■実際に現場に出て、直接行動することが大切だと思う。
■体験活動を行うにあたっての、自分たちの関わりを考えられるような話を聞きたい。
■草取りなどのたいへんな農作業を体験することも重要だと思う。
■ニュースで「都会の人にとって田舎の農業は新鮮である」という報道を見て、農業体験がブームになりつつあるようなので、県外の人を対象にした取組が効果的ではないかと思う。
■子どもを対象としている取組は、保護者も同伴とすること。大人のみを対象とした体験学習や講演会を行う。
■実際に野菜を育てることで、嫌いだった野菜を食べれるようになったりするんだと驚きました。また農と関わっていくことで、今まで以上に食というものを深く考えられるんじゃないかと思いました。